

現地より ～落花生の注文が始まりました！～

すっかり日も短くなって、朝晩も少しずつ冷え込むようになりました。人参や大根、里芋にさつまいも、レタスや小松菜、ほうれん草などの葉物が次々と育ち、現地は冬本番まであと一歩です。霜が降りるようになると、だんだんと野菜の甘みが増してくるのですが。

千葉の名産品と言えば、落花生です。毎年12月前後から3ヶ月間程、三里塚産直でも落花生を扱うようになります。近隣の農家が生産する落花生で無農薬ではありませんが、生産者と付き合いのある落花生屋さんを通して、市価より安く、注文に応じて煎りたてのものを提供してもらっています。

市場に出回っている国産落花生は早生（ナカテユタカ）が主ですが、千葉半立ちという収量は上がらないけれど旨みの基準となる脂肪分の多い品種も取り扱っています。今年は中国産のものが大不作で、例年より価格が高騰していますが、味と品質は保証します。

お歳暮などの贈り物、ちょっと贅沢なおつまみにいかがですか。

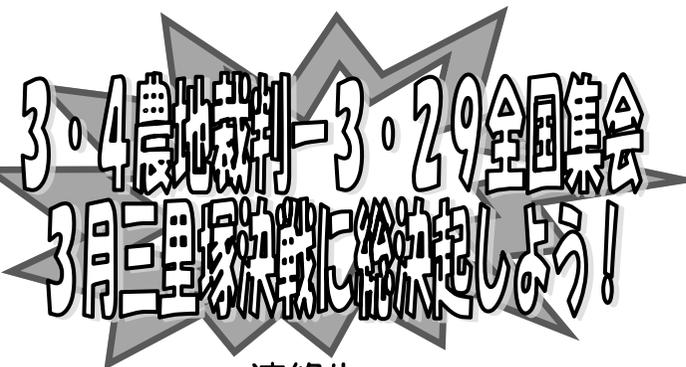
☆三里塚の野菜を食べよう
現地調査に参加しよう！

三里塚では無農薬有機栽培で年間50種類以上の野菜を作っており、これを契約した全国の消費者に配送（直接配送、宅急便）することで日々の農業を続けています。闘いの野菜、三里塚の野菜を食べよう！ 味と安全性は保証します☆

また、三里塚では援農・現地調査（見学や農作業の手伝い、戦跡巡り、反対同盟との交流）も随時受け付けています。現地の空気を肌で感じ、三里塚闘争を学ぶことを通して、ともに三里塚の闘いに決起しよう！

落花生の値段

- ☆早生(ナカテユタカ)
 - 10kg ... 22,600円
 - 1kg ... 2,300円
 - 800g ... 1,900円
 - 400g ... 1,000円
- ☆千葉半立ち
 - 10kg ... 27,600円
 - 1kg ... 2,800円
 - 800g ... 2,300円
 - 400g ... 1,200円



連絡先

全学連三里塚現地行動隊 今井治郎
〒287-0105
千葉県香取市沢2141-2
Tel: 090-6255-4319
Mail: jiro-imai@ezweb.ne.jp

行動隊

三里塚通信 Vol.007
2014年11月24日発行

☆反対同盟が民主労総の仲間と交流！

闘争の秋も深まり、11・2全国労働者総決起集会を頂点とする今秋の闘いは新たな情勢を切り拓いています。

11・2集会のデモでの3学生の逮捕-不起訴奪還、そして11月4日の京都大学での公安警察のキャンパス内でのスパイ活動の摘発と社会問題化、これらはともに闘いの前進に恐怖した敵の凶暴性と脆弱性を表しています。全国学生は衆議院選挙闘争を鈴木たつお候補とともに闘い、労働者権力を打ち立てよう！



去る10月31日に韓国民主労総ソウル地域本部の仲間が三里塚現地を訪れ、反対同盟と交流を深めました。大変遅くなりましたが、2号に亘って交流会の各発言の要旨をお伝えします。

＜11・29 三里塚闘争シンポジウム＞

検証・成田空港と住民の暮らし
-WHO欧州基準に基づく被害の実態-

【日時】11月29日(日) 13時20分～
【会場】成田公民館 市民ホール
(JR成田駅より成田山参道を徒歩15分)
【講師】松井 利仁
(北海道大学大学院教授・第4次厚木爆音訴訟証人)
【主催】市東さんの農地取り上げに反対する会



全学連三里塚現地行動隊

☆韓国と日本の労働者農民の力で戦争を止めよう ～北原鉦治事務局長～



韓国のみなさん、無事で来られて何よりです。

この交流会は今日で9回目になります。韓国の労働者のみなさんのの闘いにはいつも激励され、力づけられています。

三里塚闘争は足掛け49年目を迎えました。闘いの明け暮れがあり、私も今年で91歳になりました。49年国策と闘って今日に至りますが、成田空港は未完成です。それは何故なのか。

成田空港の正体は基地です。一旦有事の際には兵站基地として軍事利用されます。しかも農地を奪って造

られてきました。このあり方に一片の正義もないからです。

現在、安倍政権は戦争をやろうとしている、そのためにも農地を自由にできるようにして何としても成田空港を完成させようとしています。今、市東さんの農地が奪われるようなことがあれば、大きく戦争に舵をきることになるでしょう。このような政権も、それに縛られる労働者の在り方も、労働者民衆の力で根本から変えなくてはなりません。

今日、韓国の仲間の皆さんとお互いに約束したいことがあります。それは、韓国と日本の労働者・農民はがっちり手を取ろう、そして戦争を止めよう、ということです。そうすれば戦争は止められます。労働者と農民がいれば、国家はいらぬ、戦争は起こらない。一番大事なものは人間の命です。ここから始めたい。

三里塚はこれからも闘い続けます。ともに闘いましょう！

☆農民との連帯が動労千葉の原点～動労千葉 田中康弘委員長～

改めて歓迎の挨拶を申し上げます。今日は動労千葉と三里塚の関わりについて話したいと思います。

動労千葉と反対同盟が固く手を結ぶようになったのは1977年でした。当時の成田空港は飛行場は完成していたが、ジェット燃料を輸送するパイプラインは完成していませんでした。そこでジェット燃料を貨車で運べという話になりました。

農民が命がけで闘っているのを見て、自分たちも首をかけた「ジェット燃料貨車輸送阻止闘争」を始めました。解雇者を出しながら、阻止闘争を闘いました。



しかしここで、大きな問題が起こりました。組合本部が「国と真正面から闘うことになるからやめろ」と圧力をかけてきたのです。そしてそれを拒否すると、統制処分を付けてきました。それをきっかけに動労千葉は本部から分離・独立して単独の労働組合になりました。分離・独立したから80年代の国鉄の分割・民営化攻撃とも闘えました。農民との連帯は、動労千葉の原点そのものなのです。そしてその力でこうして韓国の仲間と交流会を開くこともできました。

日本の労働運動は後退に後退を重ねてきました。原点に戻って日本の労働組合を闘う労働組合に変えていきたい、その力や方向がどこにあるかを韓国民主労総の闘いから学びたいと思います。ありがとうございました。

☆48年間の国策との闘いに感動～イヒョンチョル副本部長～



反対同盟と動労千葉のみなさんに感謝の言葉を申し上げます。48年間闘ってきたみなさんの姿を見て、非常に感動を覚えました。韓国でも済州（チェジュ）島で海軍基地反対の闘いが数年間続いています。

動労千葉の皆さんが国鉄の分割・民営化と対決して闘っているように、私たちも韓国で鉄道民営化反対で闘っています。また、FTA反対、BSE牛肉の輸入をはじめとする食の安全問題、非正規職反対の闘いに取り組んでいます。

この地を訪れて、労働者と農民の闘う姿を見て、この社会を変革することは全く可能だという確信を持ちました。

労働者・民衆が団結すれば勝利できる、粘り強く戦う農民は勝利できると思います。ありがとうございました。

現在の署名数17839筆 3万人署名を全力で集めよう!!